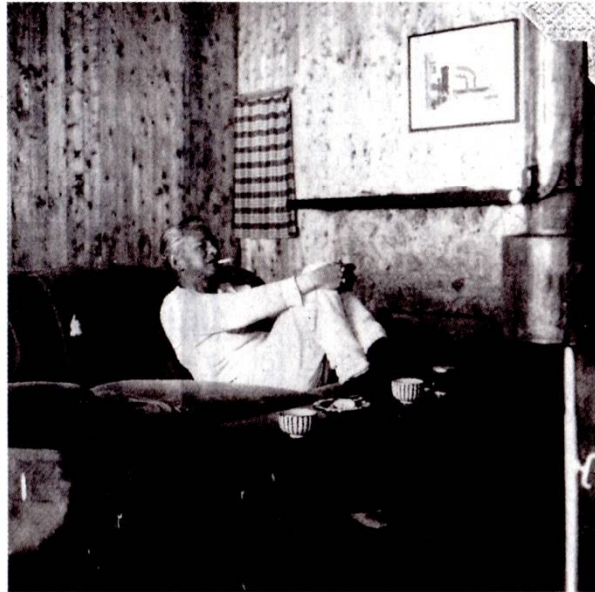


山形・蔵王温泉 自身が建てた山荘でくつろぐ—

白洲次郎の貴重な写真



山荘1階にあったリビングでくつろぐ
白洲次郎



ヒュッテ・ヤレン（後方）の近くでスキーを
持つ白洲次郎（右から2人目）

「まちネット」の保存運
動を新聞で知った東京都台
東区の男性が矢口さんに連
絡。男性の父親は白洲と交
流があり、アルバムに同山
荘の内部や周りで撮影した
写真を貼っていた。矢口さ
んが男性に依頼し、白黒写
真約50枚を焼き増しして送
ってもらった。

これらの写真は1959
（昭和34）年に撮った。白
洲がたばこをくわえて1階
のソファでくつろいだり、
仲間と一緒に2階のキッチ
ンにいる姿なども含まれて
いる。ヒュッテ・ヤレンで
白洲を写した写真は珍し
く、貴重なカットだ。

同山荘は51（昭和26）
59年に東北電力会長を務め
た白洲が57年に建設。その
後所有権は移り、ホテル建
設に伴って土台ごと近くに
移動した。木造2階建てで
2階に玄関と台所兼居間が
ある。

1階は現在、二段ベッド
を置いた小さな寝室3室な
どになっているが、創建当
時は仕切られておらず一統
きのリビングになっていた
らしい。今回届いた写真を
見ると、リビングの一角に
カウンターや椅子、棚など
が写っており、1階にホー
ムバーがあったことが分か
った。

東京・NPO 法人に届く 10月、山形で紹介

白洲次郎が山形市蔵王温泉スキー場に建てた山荘「ヒュッテ・ヤレン」の保
存運動に取り組む東京のNPO法人「元氣・まちネット」（矢口正武代表、戸沢
村出身）に、同山荘でくつろぐ白洲が写った珍しい写真が届いた。一緒に送られ
た別の写真からは山荘の1階にホームバーがあったことも新たに分かった。「ま
ちネット」は10月に山形市で開くシンポジウムでこれらの写真を紹介する。

白洲次郎（しらす・じろう、1902
～85年） 兵庫県出身。吉田茂
元首相の側近として戦後の混乱期に活
躍した。日本国憲法の草案作成に携わ
り、連合軍総司令部（GHQ）と渡
り合って「従順ならざる唯一の日本人」
と言われた。貿易庁の初代長官となり、
商工省を改組して通商産業省を設立。
東北電力の初代会長も務めた。

山形新聞
2012年8月15日に掲載